

昭和医科大学
助産学専攻科
2027



助産師になるための充実した 1年間を昭和医科大学で学んでみませんか



教育研究上の目的

本学の教育理念である「至誠一貫」を基に、女性の全生涯を対象に、家族・乳幼児・地域社会も視野に入れ、女性の主体性を尊重したウィメンズヘルスを支援できる豊かな人格と教養を兼ね備えた人物を育成する。さらに、安全で質の高い助産ケアを提供し、医療・保健・看護・福祉の向上に寄与し、国内外に発信できる助産師を育成する。

教育研究上の目標

1. 「至誠一貫」の理念を基に、対象や環境への温かい心と誠意を持ち、母子および家族や地域と、良好な信頼関係を基盤として、助産師としての機能を発揮することができる。
2. 女性の生涯を通じた性と生殖の健康を支援する上で、助産師として多様な価値観を尊重できる能力を養い、ライフステージ各期の健康問題に対応することができる。
3. ウィメンズヘルスにおける科学的根拠に基づく科学的思考により、適切な判断と実践ができる。
4. 地域での母子保健のニーズを的確に捉え、医療・保健・看護・福祉のチーム医療に貢献できる姿勢と能力を身につけることができる。
5. 日常生活を送る対象や乳幼児、家族を身体的・精神的・社会的に判断し、家族としての機能が十分に発揮できるような、コンサルテーション能力や技能を学び、教育や支援ができる。
6. 自学自習を基に、医療・科学の進歩に対応できる高度で最先端の能力と専門的助産実践能力（知識・技術・人間性）を身につけることができる。
7. 国際化する社会において、さまざまな文化を積極的に受け入れる柔軟性を持ち、助産師の専門性を追求しながら、国際的視点を身につける。
8. 助産師としてのアイデンティティを追求し、自立した専門職業人として、未来へ向けての助産学の発展をめざすと共に、実践能力の維持・向上のために自己啓発することができる。
9. 研究分野の発展に寄与できる創造性を身につけることができる。





助産学専攻科長
下平 和久

強い意欲と熱い情熱をもつ、自律した助産師に

現代の助産師は、妊娠・出産にとどまらず、出生前診断から、思春期、更年期、さらには次世代の健康にまで関与する、女性の健康のトータルアドバイザーです。本専攻科では、女性の健康について様々な角度から学びます。

「総合周産期母子医療センター」で、母体救命、出生前診断、小児心疾患治療等で国際的な水準を誇る昭和医科大学病院、「地域周産期母子医療センター」で、助産師主導の妊娠分娩管理にも取り組む昭和医科大学横浜市北部病院、口唇口蓋裂センターも併設された昭和医科大学藤が丘病院、「女性とこどもに優しい病院」をモットーに「地域周産期母子医療センター」として最新鋭の設備を誇る昭和医科大学江東豊洲病院。4病院合わせて年間約4000件の分娩の中で、本学の特徴である「臨床教員」の指導の下充実した臨床実習が行われます。教育スタッフ、助産スタッフ、医師の連携の良さは、本専攻科のみならず本学全体が誇るもので、「至誠一貫」をモットーとする「医系総合大学」たる昭和医科大学の特徴です。

このように恵まれた教育環境ではありますが、1年間という短期間で、助産実践能力を身につけ、自律した助産師になるためには並々ならぬ努力が必要です。強い意欲と熱い情熱をもった方の入学を期待致します。

● アドミッションポリシー

1. 助産師になることを強く希望する人
2. 日々進歩する医学、生命科学などの医療や健康に関わる科学を理解・適用するために必要な、科学的思考力の基本となる理系科目の基礎学力を有する人
3. 医療を通じた国際貢献についても関心があり、外国語の基礎学力を有し、学習を続ける意欲のある人
4. すべての学習の基本となる記述力、読解力などの文章能力を備えた人
5. 助産学は“人間”を対象とした学問分野であり、出生前診断や生殖医療にも関わるため、豊かな人間性と倫理観をもっている人
6. 人と関わることに関心を持ち、他者の意見を傾聴し、その気持ちを理解できるように努めることができる人
7. 自己の意見を表現できる能力を持つために、課外活動、ボランティア活動、各種委員会等の活動を積極的に行い、コミュニケーション能力の基礎を学んできた人
8. 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たし、地域医療に貢献する意欲のある人
9. 自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人
10. チーム医療への理解を深め、実践していく意欲のある人



● カリキュラムポリシー

1. 医学・歯学・薬学・保健医療学の医系の総合的な視点でウィメンズヘルスに役立つ支援内容が提供できる。
2. 科学的根拠に基づいた助産診断・助産技術を提供できるよう基礎的診断能力の向上に努める。
3. 女性の人権を基盤としてのウィメンズヘルスを推進できる健康教育の知識と技術を提供するため、大学病院の助産師外来や院内助産院を活用する。
4. 思春期から更年期・老年期など女性の生涯にわたる健康課題に対応できる視野を身につけるために、大学病院の外来や地域での活動を実践し、対象の個別性にあった保健指導・健康相談を学ぶ機会を提供する。
5. 学生の主体性を重んじ、学習課題に取り組む授業形態を導入し、学生のアイデンティティを高めている。
6. 医療・科学の進歩に対応できる施設で臨地実習できる等、実習環境や指導体制が確保されている。
7. チーム医療を基盤として、他職種との相互理解と協働を推進する教育プログラムになっている。
8. 研究分野への興味を深め、今後の実践研究に活用できるプロセスを学ぶ。

● カリキュラム構成



カリキュラム内容

教養学領域

助産師として勤めるために、専門家としての基礎知識、姿勢、倫理的観点や情報活用能力の基礎を習得するための科目を構成しています。

区分	授業科目	時期	単位数	時間数	履修方法	修了要件
教養学領域	ジェンダー論	前期	1	15	必	
	倫理学	前期	1	15	必	
	英語	前期	1	15	必	
	小計（修了要件）					3



基礎助産学領域

助産師として妊産褥婦、新生児またその家族への支援を行うための、基礎概念、意義、助産師の責務等を学び、妊娠・分娩・産褥・新生児期の異常を診断するために必要な基礎知識、各期の疾患等の習得する科目を構成しています。

区分	授業科目	時期	単位数	時間数	履修方法	修了要件
基礎助産学領域	助産学概論	前期	2	30	必	
	基礎助産論Ⅰ(産科学)	前期	2	30	必	
	基礎助産論Ⅱ(解剖生理学)	前期	2	30	必	
	基礎助産論Ⅲ(新生児・乳幼児)	前期	1	15	必	
	小計（修了要件）					7



臨床助産学領域

周産期における分娩開始の診断や分娩経過中の助産診断能力を身につけ、症例検討やそこから導き出された援助の練習等を通し、根拠に基づいた助産実践能力を養うための科目を構成しています。

区分	授業科目	時期	単位数	時間数	履修方法	修了要件
臨床助産学領域	臨床助産論Ⅰ(保健指導・健康教育)	前期	2	60	必	
	臨床助産論Ⅱ(分娩助産)	前期	2	60	必	
	臨床助産論Ⅲ(助産診断)	前期	2	30	必	
	臨床助産論Ⅳ(ハイリスク事例展開)	前期	2	30	必	
	臨床助産論Ⅴ(臨床推論)	前期	2	60	必	
	小計（修了要件）					10



実践助産学領域

女性のライフステージ各期における、家族を含めた専門性の高い援助を提供するために、助産業務の実践とそれに関連した助産管理の必要性を理解し、また、地域母子保健の意義、母子保護の国際化などを理解していきます。

区分	授業科目	時期	単位数	時間数	履修方法	修了要件
実践助産学領域	実践助産論Ⅰ(助産師活動の実際)	通年	2	30	必	
	地域母子保健	後期	2	30	必	
	助産管理論	前期	2	30	必	
	助産学実習Ⅰ(基礎実習)	前期	1	45	必	
	助産学実習Ⅱ(分娩助産実習)	後期	5	225	必	
	助産学実習Ⅲ(継続事例実習)	通年	2	90	必	
	助産学実習Ⅳ(地域・助産所実習)	後期	3	135	必	
	助産学実習Ⅴ(管理実習)	後期	1	45	必	
	助産学研究	通年	2	60	必	
	小計（修了要件）					20



合計（修了要件）

40

年間スケジュール



授業風景



分娩介助演習



包括的性教育

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期講義	助産学実習Ⅰ（基礎実習）	前期講義	分娩介助技術試験 前期試験	前期講義	助産学実習Ⅱ・①（分娩介助実習） 夏期休暇 後期講義 両親学級実施 後期講義	助産学実習Ⅱ・②（分娩介助実習）	助産学実習Ⅳ（地域・助産所実習）	助産学実習Ⅴ（管理実習） 冬期休暇	国家試験対策 補講および模試	助産師国家試験	修了式
妊産婦継続事例実習											



産痛緩和法演習



分娩期 臨床推論



妊産婦への栄養指導 ～調理実習～

● 助産学専攻科データ

■ 入学試験情報

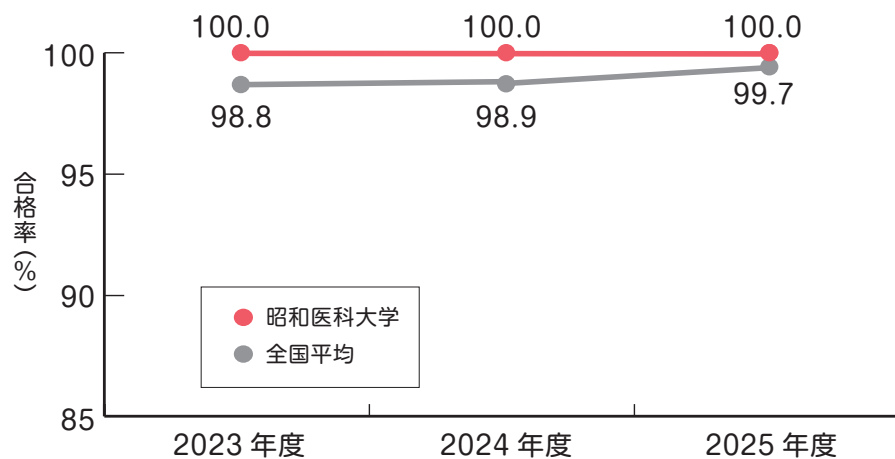
	定員	志願者	合格者	倍率
2024 年	15	76	15	5.1
2025 年	15	87	14	6.2
2026 年	15	98	15	6.5

※過去問題の公開はしていません。

■ 志願者構成

	大学卒業見込み	既卒	その他	志願者合計
2024 年	61	14	1	76
2025 年	77	10	0	87
2026 年	86	12	0	98

■ 助産師国家試験合格率



	2023 年度	2024 年度	2025 年度
昭和医科大学	100.0	100.0	100.0
全国平均	98.8	98.9	99.7

オープン
キャンパス
情報

8月 5日(水) ※対面開催

8月 23日(日) ※対面開催

最新情報は本学ホームページをご確認ください。
※今後の社会情勢等により、日程が変更となる可能性があります。



心に残る充実した助産師基礎教育を

1人ひとりの助産師としてのアイデンティティ形成を大切に

教員紹介

上田 邦枝・中山 香映・和智 志げみ・松井 真弓・古川 奈緒子
水井 美生

〔臨床教員〕

川嶋 昌美・佐藤 陽子・高木 睦子・太田 千春・峯尾 アヤ
三上 里枝子・佐々木 佑・川上 慧美

専攻科教務主任より

本学助産学専攻科は2012年に開設されました。産科医・小児科医が不足している現在、助産師は周産期医療を支える重要な存在です。さらに、医師の補助ではなく、助産師の自立性を高める大きなチャンスです。臨床現場に即した、助産診断能力と助産技術、そして女性と家族を対象とする広い視野と人間性を兼ね備えた助産実践能力を養い、今後の周産期医療の要となる人材の育成をしたいと考えています。

助産基礎教育における助産師のアイデンティティの形成にも力を入れており、学生と語り、学生自らが助産師となることの喜びを表現できる、そんな教育を心がけています。みなさんの素晴らしい発想力や創造性を引き出せるよう全力でサポート致します。

限られた時間を有効につかい、共に充実した日々を送りましょう。

教授 上田 邦枝



臨床教員より

昭和医科大学助産学専攻科には、4つの附属病院に8名の臨床教員が配置されていて、講義および実習を担当しています。そのため基礎的な助産診断能力や助産技術という助産基礎教育だけでなく、助産師としてのキャリアを考慮した卒後教育まで一貫して関わっています。

実習期間中は、臨床教員の主たる勤務地である実習施設(附属病院)において、実習指導者のみならず、病棟全体で学生を迎え入れ、臨床教員が学生の側で常にサポートをしています。臨床教員の看護実践を間近で見て学ぶことも可能です。充実した実習施設で情熱を持って働くわたしたちとともに助産師を目指し学んでみませんか？

臨床教員 佐藤 陽子



先輩からのメッセージ

受験生の皆様、こんにちは。

私は、昭和医科大学助産学専攻科を卒業し、附属病院で働いております。当病院では、外来での保健指導や診察の介助、病棟での分娩介助、妊産褥婦・新生児のケア、婦人科ケア、学生指導を実施しています。その中で求められる知識や技術、アセスメント力は、間違いなく専攻科で身に付いたものだ実感しています。

専攻科での一年は、私にとって大きく成長できたかけがえのない時間でした。講義や臨地実習、助産院や保健所での実習、OSCEを通して、助産師として必要な知識や技術だけでなく、女性とご家族に寄り添う姿勢の大切さを学びました。悩むこともありましたが、先生方や指導者の皆様、同期の支えがあり乗り越えることができました。専攻科での学びや同期と過ごした時間は、今でも私の支えです。

対象者様として自分自身にひたむきに向き合うことで、自分らしい助産観を見つけることができるはずです。応援しています。

10期生 江東豊洲病院周産期センター 太田寧々



専攻科生から メッセージ

私は他大学の看護学部を卒業後、本学に入学しました。助産学専攻科での学びは非常に密度が高く、毎日が多くの学びと成長の機会にあふれており、充実した日々を過ごしています。また、苦楽を共にしながら切磋琢磨できる仲間と出会えたことも、私にとって大きな支えとなっています。学内では充実した設備を活用した演習を行うことができ、実習では臨床教員制度のもとで実践的な指導を受けられるため、助産師として必要な知識・技術・判断力を着実に身につけることができます。助産学生として成長できる環境が整った本学で、仲間と高め合いながら、女性とご家族に寄り添い、信頼される助産師を目指して日々学びを深めていきたいと考えています。 助産学専攻科15期生



私は保健医療学部を卒業後、助産学専攻科に入学しました。忙しく、大変な日々ですが、学生同士で協力し、励まし合い、授業や演習に励む日々はとても充実しています。主体的・実践的なカリキュラムが多く、様々な視点で対象者様との関わりについて考えることができます。学内では、学生の質問に丁寧に答えサポートしてくださる先生方がおり、充実した演習環境があります。実習では、学生に寄り添い丁寧に教えてくださる臨床教員がいます。充実した環境の中で、仲間と支え合い、まだ見ぬ対象者様のために日々勉強に励んでいます。 助産学専攻科15期生



Q&A

よくあるご質問にお答えします。

Q1. 新キャンパスについて教えてください。

令和9年4月1日に、鷺沼キャンパスを開設予定です。医学部・歯学部・薬学部の2・3年次と4年次の一部、保健医療学部の2～4年次、助産学専攻科の学生約2,000人が学ぶ予定です。東急田園都市線 鷺沼駅 徒歩3分で大変アクセスの良い立地です。



Q2. 学費・実習費が心配です。どのくらいかかりますか？

200万円です。実習費を含んでいます。奨学金制度もあります。学納金以外に、健康診断時に抗体が確認できなかった場合、実習時に必須となるワクチン接種代を徴収することがあります。

(入学金 10万円 授業料 110万円 実習費 50万円 施設費 30万円)

Q3. 昭和医科大学の奨学金制度について教えてください。

昭和医科大学では、助産学専攻科入学生が、経済的負担を負うことなく、勉学に励める環境を整えるために奨学金貸与制度を設けています。

昭和医科大学助産学専攻科奨学金貸与制度

貸与額

200万円

(在学中1回)

【返済方法】

- 1) 課程を修了し、助産師免許取得後に本学の附属病院に助産師として、3年勤務した場合、返済を免除します。
- 2) 中途退学した場合は、一括返済となります。
- 3) 返済金は無利息とします。

【手続方法】 入学後オリエンテーションで案内

専攻科のために
配慮された
奨学金制度です！



Q4. 実習の実施場所はどこですか？

昭和医科大学附属病院です。昭和医科大学病院をはじめ、昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学横浜市北部病院、昭和医科大学江東豊洲病院を中心に実習しています。また、地域の助産所の実習や保健所実習もあります。実習に先立ち、見学実習を行い、実習地の希望を申請することもできます！

病 院

昭和医科大学病院



●母体救命対応の総合周産期母子医療センターを有します！

昭和医科大学江東豊洲病院



●女性とこどもにやさしい病院です。

昭和医科大学藤が丘病院



●ママさん助産師が活躍するアットホームな病棟です。

昭和医科大学横浜市北部病院



●マタニティハウスを併設しています！



マタニティハウス/新生児室

タイプの異なる4つの大学附属病院で実習!!

助産所

・ 山本助産院 ・ 助産院バースあおば ・ みやした助産院

Q5. 就職先はどのような病院がありますか？

昭和医科大学附属病院にほとんどの修了生が就職しています。もちろん、外部の医療機関へ就職する修了生もいます。



昭和医科大学
助産学専攻科



TOKYO & YOKOHAMA MAP
AROUND SHOWA UNIVERSITY

鷺沼キャンパス

2027年4月 開設予定

【交通】●東急田園都市線 鷺沼駅 北改札 徒歩3分

お問い合わせ先

昭和医科大学助産学専攻科 入学試験担当 〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865 TEL 045-985-6500
E-Mail : nrkyoumu@ofc.showa-u.ac.jp <http://www.showa-u.ac.jp>